

# 児童発達支援ガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2023年12月  
結果公表日: 2024年3月29日

## 回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%  
保護者様: 32名回答、回答率 80%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

・教室の環境面の質問に対して、全職員が「どちらともいえない」の回答を多くしている。構造化や視覚的提示という工夫はしているが、より良い環境整備のために最善の工夫が必要である。

### ○業務改善

・毎日MTGの時間を設け、PDCAサイクルを意識しながら行っている。  
・指導員の資質向上の為の研修は、本社の研修担当部署が数多くの研修を実施している。

### ○適切な支援の提供

・児童発達支援計画に沿った支援を行っている」と全職員が回答している。その一方で、日々の支援でのアセスメントがもっと必要との意見もあった。  
・活動プログラムの立案については、MTGにてお子さまの様子や状況を共有し、1人1人にあったプログラムを話し合い、決定している。

### ○関係機関や保護者との連携

・関係機関との連携に対する質問では全職員が「はい」と回答している。  
・フィードバックで、保護者様よりお悩みやご相談があった際に助言をしたり、必要に応じて事業所内相談支援のご提案をしている。

### ○保護者への説明責任等

・個人情報の取り扱いに関して、全社としてPマークも取得しており、取り扱いには十分に注意していると全職員が回答している。  
・意思疎通や情報伝達に関しても、全職員が配慮していると回答した。

### ○非常時等の対応

・緊急時対応マニュアルの作成をしている。また、避難訓練の実施を月に1回行っている。  
・虐待に関して全職員が研修を受講し、やむを得ない身体拘束に関しては、契約時に説明をしている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

・「教室のスペースに狭さを感じている」や「親が待機する場所が充分にない」という意見がある一方で「限られたスペースを活用したり、怪我が無いように工夫してくださっている」や「少人数なので充分だと思います」との意見も頂いている。

### ○適切な支援の提供

・「児童発達支援計画に沿った支援が行われている」と回答した方が100%だった。また「子供の苦手なことが少しずつできるようになるよう真剣に考えて頂き感謝しています」や「就学に向けて必要だと思うことをやってくれて助かっている」等の意見も頂いている。

### ○保護者への説明等

・「運営規定、利用者負担等について、丁寧な説明がなされたか」の質問に対しても「はい」と答えた方が100%だった。「日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか」の質問に対しても「はい」と答えた方が99%だった。

### ○非常時等の対応

・「非常災害の発生の備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」という質問に対して、半数以上の方から「どちらともいえない」「いいえ」との回答も頂いた為、全ての利用者に対して、必要な訓練を行っていることを周知していく。

### ○満足度

・「支援に満足しているか」という質問に対し、90%の方が「はい」と回答してくださった。その一方で「子どもは楽しそうに通っており、スタッフの皆さんにも感謝しているが、発達障害の支援に携わる行政、医療機関、療育共に体系的に説明がされず、状況や見通しが把握できず困惑している」とのご意見も頂いている。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・利用者の発達の状況によっては、同じプログラムを繰り返し行うことが有効な場合もあるため、目的があってプログラムを固定化しているということを保護者に伝えていく。その上で、活動プログラムには流れやステップがあり、変化しているということを説明する。
- ・曜日や実施時間を分散して避難訓練のプログラムを設け、1年間でできるだけ多くの利用者に対して訓練を実施する。
- ・毎月2件ブログを更新し、日々の活動内容を発信する。また、フィードバック室にブログのQRコード付きの掲示物を貼り、ブログの存在も周知していく。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・「活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか」の質問に対し、90%の方が「はい」と回答。フィードバックや総評を通して、支援が固定化されていない、もしくは固定化している意味を理解してもらえる機会が増えた。
- ・今年度も避難訓練を月に1回実施した。年間を通して曜日を分散したり内容を被らない様に工夫して実施した。
- ・6月までは活動報告をブログで発信していたが、その後は発信することができていない為、継続的にブログにて発信していけるよう取り組んでいく。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・ご利用するにあたっての説明やご利用後の療育面でのフィードバックがしっかり行われている。
- ・児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
- ・各種関係機関との連携が密に行われている。
- ・子ども達が楽しみながら通っている。
- ・支援に満足して頂いている。

### ○改善点

- ・避難訓練を教室として実施しているが、実施している状況が伝わりきっていない為、周知の徹底をする。
- ・教室としての身近な活動報告をブログ等で発信していく。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・避難訓練の実施日を教室内の目立つ場所に提示し、周知を図る。
- ・活動内容を定期的に発信していく。
- ・フィードバックの際に的確に行った活動内容を共有していく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・曜日や実施時間を分散して避難訓練のプログラムを設け、1年間でできるだけ多くの利用者に対して訓練を実施する。また、避難訓練実施後には、内容や実施時の様子等を掲示物として貼りだし周知を行っていく。
- ・毎月2件ブログを更新し、日々の活動内容を発信する。また、フィードバック室にブログのQRコード付きの掲示物を貼り、ブログの存在も周知していく。